



2023年3月29日

世界的な飢餓の危機に関する G7 加盟国首脳への書簡

G7 各国首脳閣下

内閣総理大臣 岸田 文雄様

外務大臣 林 芳正 様

外務省 G7 広島サミット事務局長 北川 克郎 様

国際 NGO プラン・インターナショナルは、急速に深刻化する世界的な食料危機に強い懸念を抱き、この度日本で開催される主要国首脳会議(G7 広島サミット)および関係閣僚会合において、多くの命を救うために断固とした行動を取ることを、ここに強く求めます。

ロンドン G7 サミットで「**飢饉防止及び人道危機に関する G7 コンパクト(G7 Famine Prevention and Humanitarian Crises Compact)**」¹が承認されてから約 2 年が経過しましたが、依然として飢餓は世界中に蔓延しており、2030 年までの目標「**飢餓をゼロに**」²を達成する見通しはますます遠のいているのが実情です。現在、世界的な食料危機は、紛争、経済的不平等と圧力、気候ショックが重なり拡大し続けています。82 カ国で、少なく見積もっても過去最高となる 3 億 4,900 万人の人々が急性の食料不安に直面し、5,000 万人が飢饉の瀬戸際に立たされています。このような人々にとって、安全で栄養価の高い食料を十分に確保することは至難の業です。

全ての人々に影響を及ぼす飢餓ですが、中でも特に子どもと女性は矢面に立たされ続けています。5 歳未満の子どもや思春期の女の子たち、妊娠中または授乳中の若年女性にとって、栄養不良は特に危険です。栄養不良状態にある思春期の女の子や若年女性は、流産、妊産婦死亡、低体重児出産のリスクが高く、栄養不良の世代間連鎖を引き起こし子どもたちにも影響を及ぼします。最も打撃を受けている 15 カ国では、**3,000 万人以上の子どもたち**³が急性栄養不良に苦しみ、生存を脅かされるような事態に直面しています。

プラン・インターナショナルが新たに発表した報告書⁴では、現在の世界的な危機のもとでは、女の子と女性が不均衡な影響を受け続け、ジェンダー不平等が拡大していることが示されています。食事の順番を後回しにされ、栄養価の低い食事を少量しか得られないだけでなく、家庭の内外でジェンダーに基づく暴力を受けるリスクが高まっています。女の子や女性たちは、収入を得たり、食料や水、生活必需品を確保するために外出する道中でもジェンダーに基づく暴力の被害に遭うリスクがあります。また、労働負荷やストレスの増加による家庭内のプレッシャーがマイナス要因となり、ジェンダー平等に向けた歩みが世代を超えて後退してしまう危険があることも分かっています。現在、より多くの女の子が教育の機会を失い、増大し続ける家庭の経済的負担を減らすために、児童婚や早婚、強制結婚の危険にさらされているのです。

¹ Policy paper G7 famine prevention and humanitarian crises compact(5 May 2021)

<https://www.gov.uk/government/publications/g7-foreign-and-development-ministers-meeting-may-2021-communicue/g7-famine-prevention-and-humanitarian-crises-compact>

² Goal 2: Zero Hunger, <https://www.un.org/sustainabledevelopment/hunger/>

³ UNICEF, Urgent action needed as acute malnutrition threatens the lives of millions of vulnerable children, 12 January 2023, <https://www.unicef.org/press-releases/urgent-action-needed-acute-malnutrition-threatens-lives-millions-vulnerable-children>

⁴ プラン・インターナショナル「飢餓の向こう側 地球規模の食料危機におけるジェンダーの視点から見た影響」(2022 年) https://www.plan-international.jp/about/pdf/2022_Beyond_Hunger_jp.pdf



プラン・インターナショナルは、この危機に対し特に「飢饉防止及び人道危機に関する G7 コンパクト」に示されたコミットメントや試み、食料安全保障のためのグローバル・アライアンスの取組を通じて、これまで各国が講じて来た数々の対策に対し謝意を表します。しかしながら残念なことに、これらまでの世界的な行動は、数百万人の人々を飢饉の淵から救い、苦勞して獲得した開発とジェンダー平等の進展の逆行を防ぐためには、今なお不十分であると言えます。

何百万人もの人々の命を救い、ジェンダー平等に向けた進展の壊滅的な後退を防ぐため、プラン・インターナショナルは G7 加盟国に対し、以下の取り組みを求めます：

- ・ 国連 WFP の最新のデータで示されている緊急レベルの飢饉に直面している飢饉スポットの 5,000 万人の人々を支援するために必要な 230 億米ドルの追加資金を新たに拠出すること。資金は、即座に柔軟に対応でき、用途が割り当てられていないことが重要で、特に若者女性、女性の権利団体の主導による、地域主導型支援活動を進めるために使われる必要がある。
- ・ ジェンダーによって異なる飢饉の影響に対処するため、ジェンダーと年齢に配慮した対応を優先すること。これには、食料不安の中で取り組む子どもの保護、ジェンダーに基づく暴力、女の子の教育アクセス、性と生殖に関する保健サービスへのアクセス、児童婚、早すぎる強制された結婚、性的虐待と搾取などの特定のプログラムへの資金拠出を含める。また、性、年齢、障害、多様性ごとの食料安全保障データの集計を強化する取組への支援も含まれる。
- ・ 紛争が飢饉の主要因となっている飢饉のホットスポットにおける人道へのアクセスを促進し、平和の展望を高めるための人道外交を推進すること。
- ・ 脆弱な状況にあるコミュニティの回復力を高めるために、以下を支援すること。
 - 干ばつや洪水などの予測可能な災害に備えた早期警戒システムと先行的行動を強化する。
 - 女の子が持つ教育、保護、健康に対する権利に飢饉がもたらす打撃の連鎖に対処するため、学校給食プログラムなどを通じてジェンダー視点に立った社会保護に大規模に投資する。
 - 経済的機会を増やすために、農業支援、放牧地や家畜の管理、技能訓練などの生計プログラムへの支援を強化する。
- ・ 2021 年「飢饉防止及び人道危機に関する G7 コンパクト」に示されたコミットメント実施に向けた取り組みの成果を公開する。

A handwritten signature in black ink, appearing to read "Stephen Omollo".

Stephen Omollo
Chief Executive Officer
Plan International



A handwritten signature in black ink, appearing to read "M. Banasko".

Marcia Banasko
EU Representative
Plan International European Union Liaison Office

A handwritten signature in black ink, appearing to read "Y. Tanada".

Yuichi Tanada
CEO
Plan International Japan

A handwritten signature in black ink, appearing to read "L. Glassco".

Lindsay Glassco
President and CEO
Plan International Canada

A handwritten signature in black ink, appearing to read "Shanna C. Marzilli".

Shanna Marzilli
President and CEO
Plan International United States

A handwritten signature in blue ink, appearing to read "Concha López".

Concha López
President
Plan International Italy

A handwritten signature in black ink, appearing to read "Kathrin Hartkopf".

Kathrin Hartkopf
National Director
Plan International Germany

A handwritten signature in black ink, appearing to read "A. Bideau".

Anne Bideau
Directrice générale
Plan International France

A handwritten signature in black ink, appearing to read "R. Caldwell".

Rose Caldwell
CEO
Plan International United Kingdom